

サポートツール実証データ

実証研究実施者	村井敏宏
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文章の音読
困難	<p>文末を間違ったり、助詞を間違いやすい。</p> <p>音読が遅くなる</p> <p>勝手読みをする</p> <p>文節ごとに区切らず、ことばの途中で区切って読んでしまう。</p> <p>文章を単語のまとまりに分けることが難しい</p>
サポートツール	<p>リーディングルーラー デュオ</p> <p>ユニークエデュケーションプランニング</p> <p>(http://www.uepshop.jp/SHOP/DU010.html)</p>
学年	小学校3年生、女兒
試用期間	2学期(9月～12月、4ヶ月間)
使用場所	通常学級
使用上の注意、条件	国語の教科書音読、テストの問題文の読み
使用状況 ＜授業の構成等＞	<ul style="list-style-type: none"> ・まず最初に、ことばの教室での音読練習の際に使用した。 色は、アクア・ピンク・ガラスの3色から選ばせ、本児はアクアを選択した。 ・選択したリーディングルーラーを持ち帰らせ、学校の授業でも使うようにさせた。 担任に使い方、留意点などを連絡し、教室内で使えるようにしてもらった。 ・使用する場面は本児に考えさせた。
＜子どもの様子＞	<ul style="list-style-type: none"> ・使用した場面－国語教科書の音読、国語の読解問題、算数の文章題 ・必要な場面では、自発的にリーディングルーラーを出して、読む場所に当てながら読んでいた。 ・本人の感想－色がついている方が読みやすい。 <li style="padding-left: 2em;">読む場所が分かりやすいので、2回読まなくていい。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや行数に合わせて、細い・太いの2つのウィンドウを使い分けられる。 ・艶あり面(表)と艶なし面(裏)があり、見やすい方を使い分けられる。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の様子を見てみると、リーディングルーラーを使うだけでは、読みのスピードや読み誤りは改善されているとは感じない。 ・しかし、読んでいる部分に色がついていることや、他の部分に注意が行きにくいことは、子どもが読みやすいと感じていることにつながっていると思われる。 ・子どもが読みやすいと感じることで、音読やテスト問題の読みに対する苦手感が軽減されていると思われる。

サポート・ツールの概要

・リーディングルーラー デュオの使用例

